

社会と福祉

単位数（時間数）：1 単位（15 時間） 必修/選択：必修 履修年次：1 年次 開講時期：前期

科目責任者（職位・氏名）：准教授・上田耕介

科目担当者（職位・氏名）：

対応DP：基礎力をもった社会人 ケア・スピリット 看護専門職者としての基本姿勢
看護の基礎的・専門的知識・技術 社会への関心と地域貢献 生涯学習・自己研鑽

科目記号：23

■ 授業概要

人間の生活を支える社会福祉・社会保障の基本的な理念や制度、社会保障制度に関する基本的知識、社会福祉の歴史的経緯や社会的基礎について概説する。その上で、今日の「格差社会」がもたらす分断や健康格差等の問題、社会分断を克服するものとしての「社会関係資本」について解説を行う。

■ 到達目標

1. 社会福祉の理念・制度の概要について基礎的な知識を身につけている。
2. 社会福祉の歴史的背景に関する基礎知識を身につけている。
3. 社会福祉を支える経済的基盤についての基礎知識を身につけている。
4. 今日の社会福祉が抱える問題を、マクロな社会的な文脈と関連づけて考えることができる。

■ 教育内容

科学的思考の基盤、人間と生活・社会の理解、公衆衛生看護学概論

■ キーワード

社会福祉、社会保障、医療制度、福祉国家、新自由主義、社会的格差、社会関係資本

■ 授業計画（授業項目、授業内容・授業方法、担当教員）

回	授業項目	授業内容・授業方法	担当
1	社会福祉とは何か	社会福祉・社会保障に関する概念を、その理念や制度に言及しながら解説する（講義）	上田
2	社会と医療	福祉の中でも受講生に身近な医療に焦点を合わせ、日本の医療を他国と比較しながら解説する（講義）	上田
3	近代化とその問題点	歴史をひもときながら、近代がもたらした生活上の変化・困難について解説する（講義）	上田
4	福祉国家の成立とその危機	歴史をひもときながら、福祉国家を支えるケインズ主義と、それに反対する新自由主義について解説する（講義）	上田
5	福祉国家の財政問題	福祉の持続可能性の観点から重要な、現代の経済政策論争について解説する（講義）	上田
6	社会的格差と社会の分断	新自由主義のもたらす社会的格差と社会の分断について解説する（講義）	上田
7	社会関係資本	福祉を可能にする条件としての社会関係資本について解説する（講義）	上田
8	これまでの講義内容のふりかえり	これまでの講義のふりかえり（講義）	上田

■ 履修条件

特になし

■ 成績評価方法

期末レポート 100% によって評価する。

■ 課題（試験やレポート等）に対するフィードバック方法

毎回、授業後にコメントの提出を求める。次回講義の冒頭にそれに応答する。希望者に対して、レポートのフィードバックを行う。希望者は、事前にアポイントをとったうえで、科目責任者の研究室を訪ねること。

■ 教科書

講師が作成・配布する資料にもとづいて講義を行う。

■ 参考書・参考資料等

- ・石川ひろの他著（2024）『系統看護学講座——基礎分野 社会学 第7版』医学書院
 - ・山縣文治、岡田忠克編（2016）『よくわかる社会福祉 [第11版]』ミネルヴァ書房
- 以上の他にも、講義中に必要に応じて文献を紹介する。

■ 準備学修に必要な時間及び具体的な学修内容

受講後、講義内容のふりかえり、重要な点の復習を1~2時間程度すること。この他、講義の前後に予習・復習の課題を提示することがある。

■ 担当教員からのメッセージ

社会全体のあり方と福祉との関係を知ることは、医療者としての社会的な使命を自覚し、地域社会に貢献する人材とはなにか、各自が考えていくことにつながります。ともに授業を作り上げるつもりで質問やコメントを積極的に出してください。

■ 研究室、連絡先、オフィスアワー

研究室 13、uyeda★iwate-uhms.ac.jp（※メールの際は★を@にしてください）、オフィスアワーは特に定めないが、事前に連絡してから訪問のこと。

■ 担当教員の実務経験の有無

無

■ 担当教員の実務経験

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者の有無

無

■ 教員以外で指導に関わる実務経験者

■ 実務経験を活かした教育内容